

例年の同時期の気温を上回る

市内の気温、68度まで上昇

週末からは再び冬日

6日のニューヨーク市内の気温は、華氏68度まで上昇する穏やかな気候となった。

米気象ウェブサイトで

「AccuWeather」の気象予報士アラン・レップト氏の発表によると、同日はメキシコ湾から暖かい空気が流れ込んできたことに

より、気温が急上昇。例年の同時期の平均気温を大幅に上回る結果となった。例年2月頃は、冬期で最も寒い月とされているた

め、中には突然の小春和に戸惑う市民の姿も見られた。
マンハッタン地区コロンバス・サークルで休息していたヘザー・モックリッジさんは「朝出掛ける時(日中も)寒くなると思って厚手のコートを着て失敗してしまっただわ。おかげで荷物になってしまった」と話していた。またスザンヌ・カッツさん(60)は「(寒い

山本耀司氏のブティック・オープン

マンハッタン地区
西13丁目

山本耀司氏のブティックと、アイダスのコラボレート・ブランド「Y3」のブティックが、それぞれマンハッタンの西13丁目に同時オープン。5日、多くの招待客を招いて、オープニングパーティが盛大に行われた。

山本耀司氏のブティックは、YOHJI YAMAMOTO femme-hommeのSみを扱う旗艦店。基本設計は、今年のベネチアビエンナーレの日本館の設計者に選ばれた若手建築家の石上純也氏。また、ニューヨークのアংশエイト・アーキテクト、ラルフ・ソベル氏が実施設計と監理を担当した。



オープニング・パーティの様子(記事・写真: 廣木邦明 建築家・写真家 ラルフ・ソベル・アーキテクト勤務)

俳優H・ロジャーさん

死因は急性薬物中毒

複数の処方箋を同時に服用

1月22日マンハッタン地区ソーホーの自宅アパートで急死したヒース・ロジャースさん(享年28)の死因について、ニューヨーク市監

察医務局は、複数の処方箋を同時服用したことから起きた急性薬物中毒による事故死であったと断定した。市監察医務局は5日、約

2週間に及ぶ検死の結果、「死因は処方箋の乱用から起きた事故死であると断定するに至った」と発表。また同局では、オキシコドン、ハイドロコドン、ジアゼパム、テマゼパム、アルプラゾラム、ドキシラミンとい

った薬品を含む鎮痛剤、睡眠薬、抗不安剤など、ロジャースさんが事故当時服用していたとされる処方箋の名前を挙げている。一方の麻薬捜査局では、処方箋の入手経路を調査する意向を示している。

地下鉄利用者数、急増

過去50年間で最高

2007年における地上回る結果となった。また地下鉄利用者数が、過去50年間で最高となったこと平均510万人と、06年から6.3%増となった。特にブルックリン地区とマンハッタン地区を結ぶ地下鉄L線は、若者を中心に利用者が急増しており、平日における乗車

